



♡まんまるはーと♡

第9号

認定こども園和光幼稚園
平成28年10月28日
主幹 宮園 貴子



【何だか分からないけど涙...】

2・3歳になると、子ども同士のやりとりの中で、相手に向かって「駄目!」「やだ」「嫌い」など、否定的な言葉をいうようになります。

子どもたちのやりとりの中で、「〇〇なんかきら～いだよいんねえ」「うん。やだもんね。いらぬもんね。」という言葉が、ある先生に聞こえて、次第にエスカレートしていったそうです。

そこで、先生が「そんな言い方は、言われたお友達が悲しくなるからやめて」と、その場を収めました。

そして、しばらくして、紙芝居を見るために集まってきた子どもたちに向かって、改めてこう話しをしました。

「今から大事な話をするからね。みんな一人一人が大切な仲間たち。『嫌い』とか『いらぬ』とか、そんな言葉を言われたお友達は、悲しくなるからやめてほしいの。誰かが困っていたら、みんなで助けてあげてね。一人一人が大切な仲間だから。」と先生は、本気で伝えました。

すると、真剣な表情で聞いていたA君が「**何だか分からないけど、涙が出てきちゃった**」と、手で涙を拭いたそうです。

A君は、自分でも言っている通り、「何だか分からないけど」なのです。「何だか分からない」自分の気持ちを分かって言葉にできるA君

は立派だと胸を打たれました。

「何だかわからないけど」の中身は、おそらく言葉の意味だけではなく、信頼している先生が本気で伝えようとしていることを、A君の感性のアンテナがキャッチし、涙が出てきたのだと思います。

「何だかわからないけど」の体験には、心が育つ大事なエキスがたくさんあります。単純な感情が子どもらしい感覚だと大人は思いがちですが、理屈ではなく、寸法の合わないモヤモヤした感覚も大切なことではないかと思われました。

自分や周囲の人が思わず使っている言葉を、使ってみたら信頼する友達や大人を怒らせたり、悲しませたりした経験から、本当の優しさの意味を学んでいくのではないのでしょうか。

「何だかわからないけど」の体験をそっと育む手伝いをし、子どもたちの心の成長に寄り添う教師で在り続けていきたいと思う日々です。



☆ 運動会ありがとうございました ☆

15日(土)に実施した運動会では、たくさんのご協力やご声援をありがとうございました。

立派に行進する姿・競技を楽しく頑張る姿に子どもたちの成長を感じ、感動をもらった一日となりました。

保護者の皆様に、職員一同感謝申し上げます。



☆ 平成29年度願書受付 ☆

11月1日(火)より、願書受付が始まります。

ご近所、お知り合いに未就園児がいらっしゃいましたら、お声かけくださると嬉しいです。

詳しくは和光幼稚園HPに掲載しておりますので、ご覧ください。

